

## 12. 教育活動

### 12.1 教員が作成した教材

平成 28 年度に作成された非市販の教科書については次のとおりです。

著 者	書 名	科 目 名
石田宏司	エレクトロニクス材料	エレクトロニクス材料
石田宏司	電磁気学	電磁気学
梅村信弘	初歩の物理学	初歩の物理学
梅村信弘	レーザ基礎	レーザ基礎
小田尚樹	コンピュータシステム概論	コンピュータシステム概論
小田尚樹	システム制御論	システム制御論
小田尚樹	ロボットビジョン	ロボットビジョン
小田尚樹	ロボティクス	ロボティクス
大越研人	フォトニクス物性物理	フォトニクス物性物理
大越研人	分析科学	分析科学
大越研人	有機エレクトロニクス	有機エレクトロニクス
唐澤直樹	数学B	数学B
川辺豊	初歩から学ぶ量子力学	量子科学入門
川辺豊	ベクトル・行列	ベクトル・行列
川辺豊	光学の基本	オプティクス
坂井賢一	生物学応用	生物学応用
佐々木慎也	半導体デバイス工学	半導体デバイス工学
谷尾宣久	化学基礎	化学基礎
谷尾宣久	フォトニクスポリマー	フォトニクスポリマー
谷尾宣久	マテリアル科学A	マテリアル科学A
谷尾宣久	化学	化学
谷尾宣久	高分子科学	高分子科学
張公儉	フォトニクス計測	フォトニクス計測
長谷川誠	センサ工学	センサ工学
平井悠司	光デバイス	光デバイス
平井悠司	有機化学	有機化学
平井悠司	環境化学	環境化学
福田誠	物理学入門	物理学入門
福田誠	振動・波動論	振動・波動論
安田富久一	数学A	数学A
山林由明	デジタル数学	デジタル数学
山林由明・吉田淳一	フォトニクスシステム	フォトニクスシステム
吉田淳一	環境エネルギー技術	環境エネルギー技術
吉田淳一	イノベーションと国際標準	イノベーションと国際標準
吉本直人	ユビキタスネットワーク概論	ユビキタスネットワーク概論
李黎明	アナログ回路	アナログ回路
李黎明	レーザ医療	レーザ医療
李黎明	デジタル回路	デジタル回路
江口真史、小田尚樹、小田久哉 川辺豊、福田誠	コンピュータアプリケーション	コンピュータアプリケーション

著 者	書 名	科 目 名
石田宏司、梅村信弘、川辺豊 坂井賢一、高田知哉、 <u>谷尾宣久</u> 、 山中明生	光サイエンス実験A	光サイエンス実験A
石田宏司、Olaf Karthaus、 川辺豊、 <u>谷尾宣久</u> 、山中明生	光サイエンス実験B	光サイエンス実験B
今井敏郎、梅村信弘、大越研人、 角田敦、木村廣美、高田知哉、 西野元一、 <u>平井悠司</u> 、福田誠、 南谷晴之、吉田淳一、李黎明	バイオ電子フォトンクス実験A マテリアルフォトンクス実験A	バイオ電子フォトンクス実験A マテリアルフォトンクス実験A
今井敏郎、梅村信弘、加藤冽、 <u>川辺豊</u> 、佐藤龍司、高田知哉、 福田誠、李黎明	バイオ電子フォトンクス実験B マテリアルフォトンクス実験B	バイオ電子フォトンクス実験B マテリアルフォトンクス実験B
小田尚樹、小田久哉、唐澤直樹、 小林壯一、 <u>佐々木慎也</u> 、福田誠、 吉本直人	光システム実験	光システム実験
小田尚樹、小田久哉、 <u>唐澤直樹</u> 、 小林壯一、佐々木慎也、福田誠、 吉本直人	オプトエレクトロニクス実験1 通信・ロボティクス実験1	オプトエレクトロニクス実験1 通信・ロボティクス実験1
梅村信弘、坂井賢一、谷尾宣久、 福田誠、	理工学基礎実験	理工学基礎実験

\* 下線部は編集者を示す。

## 12.2 教育研究社会貢献賞

平成 28 年度の教育研究社会貢献賞の受賞者及び受賞理由は次のとおりです。

### 【教育貢献賞】

受賞者：大学間連携共同教育推進事業 担当教職員

(小松川 浩 石田 雪也 山中 明生 金井 彩香 山川 広人 大沼 友一郎 大西 哲也)

受賞理由：大学間連携共同教育推進事業担当の教職員は、他大学の教職員と共同して教材等の整備を推進し、大学の基盤教育の推進に多大なる貢献をした。さらに共同事業を通じて、本学のシラバスの改革・充実やルーブリック評価の導入など、本学全体の教育改革にも大きな成果を修めた。その取り組みと功績を評価する。

### 【社会貢献賞】

受賞者：特別研究員 河野 敬一

受賞理由：河野敬一特別研究員はナノテクノロジープラットフォーム事業のシニアアドバイザーとして、学内外の協力を得て今日まで同事業の発展に努力した。またNMRを中心とした高い技術支援能力が評価され、平成28年3月31日付けで「文部科学省ナノテクノロジープラットフォームエキスパート」の称号が付与された。多数の展示会等に出席し、ナノテクノロジープラットフォーム事業の宣伝活動を行い、大学の知名度向上にも貢献するとともに、多くの官民による事業および登録装置の視察・見学に懇切に対応し、本学に対する一般の理解を向上させるべく努め、大きな成果を修めた。その取り組みと功績を評価する。